

子育てを支える“まち”をつくる-多様な立場から考える共助のデザイン- **New**

コーディネーター 大神 優子（和洋女子大学人文学部こども発達学科教授）

【科目概要】

本講座では、子育てを支えるまちづくりをテーマに、多様な立場からの実践事例や課題を学びます。保育現場や子育て支援施設との連携、母子保健、大学における地域支援等の取り組みを通して、それぞれの役割の違いや強みと限界について理解を深めます。その上で、講義とディスカッションを通じて、地域全体で子育てを支えるために何が求められるのかを考え、市民としてどのように関わることができるかについて、具体的に構想していきます。

日 程	回	内 容
令和8年 10月17日（土） 13:00～16:15	1	地域で子育てを支える その1（1） 保育園では、それぞれの地域が持っている力や自園の得意を生かして、どのような子育て支援や交流に取り組んでいるか等の話を通して、多様な方々との関わり合いの中で子どもが育つ大切さを考えます。 （コーディネーターによる講座のガイダンスを冒頭に行います。） また、子育てに関するさまざまな課題と、それらの課題解決に向けて展開している具体的な事業内容について担当課から学びます。 【講 師】 長谷川 美加（社会福祉法人芳雄会ふたば保育園園長）／ 浦安市こども課／ 大神 優子（和洋女子大学人文学部こども発達学科教授）
	2	地域で子育てを支える その1（2） （1）での学びを踏まえたグループワークを通して、「私」の得意を生かした子育て支援への参加を考えます。 【講 師】 長谷川 美加／大神 優子
令和8年 10月24日（土） 13:00～16:15	3	地域で子育てを支える その2（1） 親子がすこやかに安心して育つことができる子育て環境づくりのために、地域の住民や専門家としてどのような役割を果たせるか子育て支援施設等と大学との連携事例を通して考えます。 【講 師】 矢萩 恭子（和洋女子大学人文学部こども発達学科教授）
	4	地域で子育てを支える その2（2） （1）での学びを踏まえたグループワークを通じて、地域で子育てを支えるための取組について考えます。 【講 師】 矢萩 恭子
令和8年 11月7日（土） 13:00～16:15	5	乳幼児と親のやりとりをどう見るかー親子相互作用入門（1） 乳幼児と養育者は、視線やしぐさ、声などを通して互いにメッセージをやりとりしながら関係を築いています。こうした親子のやりとり（親子相互作用）を理解することは、子どもの行動の背景や親の関わりを捉える手がかりとなり、支援のヒントにつながります。 【講 師】 河村 秋（和洋女子大学看護学部看護学科教授）
	6	乳幼児と親のやりとりをどう見るかー親子相互作用入門（2） （1）での学びを踏まえたグループワークを通じて、地域で親子の関係性を支える取り組みについて考えます。 【講 師】 河村 秋

日 程	回	内 容
令和8年 11月21日(土) 13:00~16:15	7	地域支援活動を“みんなの活動”に(1) 2022年から、大学内で子育て支援の交流会「あそぼう・はなそう会」を開いてきました。根底にあるのは、交流を通して共に育ちあおうという思いです。新型コロナウイルス感染症の影響が残る中で始まった本会において、企画側として試行錯誤してきた様々な工夫についてお話しします。 【講 師】 弓削田 綾乃 (和洋女子大学家政学部生活環境学科准教授)
	8	地域支援活動を“みんなの活動”に(2) (1)での学びを踏まえたグループワークを通じて、新たな地域支援活動の運営について考えます。 【講 師】 弓削田 綾乃
令和8年 12月5日(土) 13:00~16:15	9	これまでの学びを振り返る グループワークを通じてこれまでの学びを振り返り、自身の視点について改めて考えます。 【講 師】 大神 優子
	10	多様な立場から考える共助のデザイン 子育てを支える“まち”の具体的な企画について、グループワークを通じてそれぞれの立場から考えていきます。 【講 師】 大神 優子

備 考 ○ 科目の一部内容・スケジュール等は変更になる場合があります。

講座の様子



コーディネーターからのメッセージ

大神 優子 先生

AI を含めてさまざまに社会情勢が変化する中でも、子育ての重要性は変わりません。

本講座では、多様な実践事例の「舞台裏」を知ることで、企画側・利用者側の双方の立場からできることを考えます。子(孫)育て経験の有無にかかわらず、これまでと異なる視点で、一緒に考えてみませんか。

